

平成 30 年度 学校評価シート

青梅市立新町中学校

＜学校経営方針の重点＞

1 学力の向上 2 思いやり、規範意識、社会貢献の態度の育成 3 健康・安全な学校 4 地域・保護者との連携

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	委員の評価	学校運営連絡協議会委員のコメント等
学力の向上	○主体的に学び、学習する生徒の育成 ○生涯学習の基礎を育成	・基礎的・基本的な知識・技能の定着と学んだことを活用する力を育成する。 ・「ほめる・はげます・考えさせる」に重点を置き、学習への意欲を高め生涯学習の基礎をつくる。	・良好な学習環境を維持していくため、チャイム着席・発言・発表、聞く態度を改善していく。(生活指導との連携を強化する)	4	・チャイム着席等の授業規律、生徒の時間を守る態度はよくできている。(5) ・現在の状況が継続するように指導をお願いします。(3)
			・個別の学力に応じた補習を充実して、学習への意欲を高めていく。(ステップアップクラス、スタディアシスト事業)	3.4	・補習の体制や機会についてはできている。(4) ・生徒の参加が少ないので、参加人数の改善が必要である。 ・学習の習得の差が大きい教科で補習に力を入れてほしい。 ・指導内容の更なる改善を期待しています。(2)
			・言語活動を通して学んだことを活用する授業を実践して、学習意欲を高めていく。(体験、学びあい、発表等)	3.6	・学んだことを活用する授業について引き続き取り組んでほしい。(2) ・授業の中で発言をしやすい雰囲気工夫したりしていることはよい。 ・体験、発表の機会も設けられている。掲示も充実している。 ・生徒の積極性を引き出すことがカギになると思う、
健全育成	○思いやり、規範意識、主体的に社会に貢献する力の育成 ○健康で安心・安全な学校生活の実現(いじめ、不登校の未然防止)	・学校行事・特別活動を通した人間関係づくりと社会に貢献する力を育成する。 ・健康教育、安全教育の充実を図り、危機回避能力の育成行う。	・学校行事での人間関係づくりと校内、校外のボランティア活動等による社会貢献の態度を育成する。(生徒の活躍の場を積極的に設定する。)	4	・ボランティア活動についてはよく定着している。(4) ・ボランティアにより中学生も成長が見られる。(3) ・生徒が地域と関わる意味を学ぶことはよいことであるが、地域の者も積極的に活動に参加する必要もある。 ・忙しい学校生活の中でボランティアの負担が少し心配である。 ・地域の行事の中には中学生のボランティアに頼っているものも多い。
			・日頃から生徒理解に務め、いじめ・不登校等への早期対応を行なう。また、大学と連携した不登校生徒の居場所づくりを推進していく。	3.4	・いじめ防止の取組みも生徒同士で考える機会をつくりしっかりと取り組んでいる。(2) ・不登校生徒の人数が多い学年があるので、保護者との連携を強め解決してもらいたい。 ・不登校対応についても、年齢の近い複数の支援員を使い対応できている。 ・生徒の居場所づくりは大切なので引き続き取り組んでほしい。(4)
			・健康、交通安全等の情報発信、情報モラル教育等のセーフティ教室の実施、不審者情報等の発信を行い意識を高めていく。	3,4	・実態に即した様々な形態の避難訓練が行なわれている。訓練の成果も出ている。(3) ・学校からの不審者情報等もあり、意識は高まっていると思う。 ・情報モラルの教育はこれから、ますます重要になる。
その他	○学校生活を地域・保護者に公開し、地域からの理解を深め、連携して教育に当る。 ○持続可能な学校の指導・運営体制構築のため、学校における働き方改革を推進する。	・教育活動の積極的な公開と地域・保護者が教育活動にかかわれる体制づくりを行なう。 ・生徒のスポーツニーズに対応した適正な部活動の実施、効率的な教育活動、勤務時間に対する意識改革を進めていく。	・学校だより、画像付きメール配信、学校公開、道徳授業地区公開講座等による公開をすすめる、地域・保護者の学校教育に対する理解を深める。	4	・メール配信による学校の様子を伝える取り組みはうまくいっている。(5) ・学校公開等で参加を増やす試みは行なっているが、保護者の参加はあまり増えていない現状もあるが、引き続き努力してほしい。 ・学校公開で保護者の私語で授業の妨げになっている場面もあった。
			・生徒数の減少に対応した部活動の整理、生徒のニーズに対応した部活動の在り方の検討を行なう。時間外の教育活動及び教育効果の少ない活動の整理・統合を進めていく。	3	・生徒数減少に伴う、教員数の減少もあり、部活動、補習等が減るのは仕方がないことである。無理のない教育活動を行なうことをお願いしたい。(3) ・教員数の減少による部活動の縮小等は、保護者の理解がなかなか得られないものなので慎重に進めてほしい。 ・保護者から部活動に対する意見が多いことから、部活に対する期待の大きさが感じられる。学校側の体制もあるので理解を得て進めることも大切である。 ・本来の教育ができるように、業務改善を進めていることは重要である。

※ 学校運営連絡協議会委員（5名）の方から寄せられた意見をまとめたものです。
評価は4段階評価です。 （ 4 よくできている 3 できている 2 改善が必要である 1 大いに改善が必要である ）